

(3) 予算案のポイントと重点施策

1. 竹内市長就任後初めての当初予算編成となりましたが、「夢あるまちづくり予算」という基本方針のもと、限られた財源の中で既存事務事業の存廃を含めた見直しを進める一方、山積する政策課題に積極的に対応し、必要な施策には効果的かつ効率的に投資することをめざしました。
2. 国の1次補正予算による財源を活用して、平成23年度当初予算と22年度3月補正予算を一体的に編成し、「創造する地域づくり」と「優しさ・子育て支援・教育の充実」に重点を置いた“ソフト事業”による新規施策を創設しています。
また、普通建設事業については市立病院や大宇陀小学校の建設などの大型事業が継続するなか、小中学校の耐震診断や道路の整備・維持補修事業、給水区域の拡張など、生活基盤の整備も着実に進めていきます。
3. 財政健全化に向けた取組みを強力に推進し、22年度に市債の繰上げ償還や市職員の早期勧奨退職を実施し、補助金や負担金の見直し、物件費などのマイナスシーリングを行った結果、経常的経費は△2.8%（H22：H23 予算額比）となりました。
4. この結果、平成23年度一般会計当初予算は、大宇陀小学校建設事業の本格化（6.8億円）、こども手当の増額（1.0億円）等の増嵩要因を含めて、対前年度比△0.2%（△42百万円）の規模となりました。

【重点施策】

1. 宇陀市のまちづくりと活性化

予算額

(1) まちづくり協議会の設立促進

501 千円（新規）

地域コミュニティの充実・強化を図り、地域が主体となって身近な課題を解決できる組織の創設、育成に取り組みます。【まちづくり支援課】

(2) まちづくり活動応援補助金の活用

2,570 千円

市民が主体的に参加する、協働によるまちづくりを推進するため、NPO、ボランティア団体等が提案するまちづくり活動に助成します。【まちづくり支援課】

(3) 宇陀市空き家情報バンクの創設

2,780 千円（新規）

宇陀市の空き家・空き地情報を登録・紹介し、奨励制度等を設けることにより、市外から宇陀市への定住を促進します。【まちづくり支援課】

(4) 定住促進支援事業（婚活支援）

770 千円（新規）

晩婚化・未婚化が進む中、独身男女の出会いのきっかけの場を設けることにより、結婚を応援します。【まちづくり支援課】

(5) 宇陀市総合計画後期基本計画の策定

1,075 千円（新規）

宇陀市総合計画の前期基本計画が平成24年度で終了することから、後期基本計画（平成25～29年度）を策定します。今年度は前期基本計画の進捗状況の点検・評価を実施します。（24年度債務負担行為限度額3,000千円）【企画課】

(6) 人権を尊重した宇陀市づくり

1,800 千円

法律、市条例、市総合計画の趣旨を踏まえ、今後の人権施策の指針として「宇陀市人権施策基本計画」を策定します。今年度は人権意識調査を実施します。（24年度債務負担行為限度額3,000千円）【人権推進課】

2. 子育て支援策の充実

(1) 入院医療費の無料化を中学生までに拡充 7,111 千円（新規）

宇陀市では、市独自の施策として、小学校卒業時までの入院医療費を全額助成しています。23年度からは、対象者を中学校卒業時までに拡充します。【保険年金課】

- ①小学1年～6年生 4,670 千円
- ②中学1年～3年生 2,441 千円

(2) 子ども達の予防接種の助成実施（全て任意接種・自己負担約1割）

①子宮頸ガン予防ワクチン接種 9,355 千円（新規）

（中学1年生～中学3年生の女子：3回接種）

②ヒブ（インフルエンザ菌b型）ワクチン接種 7,300 千円

（0歳～4歳の乳幼児：4回～1回接種）

③小児用肺炎球菌ワクチン接種 11,000 千円（新規）

（0歳～4歳の乳幼児：4回～1回接種） 【健康増進課】

(3) “こあら教室”の開設 2,435 千円

臨床心理士・保育士が発達障害児の障害の種類や程度に応じて、日常生活における基本的な生活習慣、及び集団生活への適応について指導するとともに、保護者の交流の場を設けています。【福祉課】

(4) 子ども医療費、ひとり親家庭等医療費助成の所得制限の撤廃 3,943 千円

奈良県が実施している乳幼児医療助成制度等では、扶養義務者等の所得が一定額を超える場合、助成対象となりません。宇陀市では、独自の施策としてこの所得制限を撤廃しています。又、平成23年8月からは、これまでの母子医療費助成制度を父子家庭まで拡大し、ひとり親家庭等医療費助成事業となります。【保険年金課】

- ①乳幼児医療費助成事業 1,932 千円（市単独事業分）
- ②母子医療費助成事業 2,011 千円（ ” ）
- ③父子家庭医療費拡大分 600 千円

(5) こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業） 855 千円

生後4ヶ月までの乳児のいるすべての家庭に、助産師若しくは市の保健師が訪問し、育児や生活についての相談に応じています。【福祉課】

(6) ベビーシートレンタル事業 362 千円

新生児から生後6ヶ月までの乳幼児を養育している方を対象に、自動車用ベビーシートを無料で貸し出しています。【福祉課】

(7) 子育て支援センターの充実 2,125 千円

乳幼児と保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育ての相談、情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とし、菟田野保健センターを拠点に全市的な取組みを実施します。【学校教育課】

(8) “宇陀こどもフェスタ2011”の開催 558 千円

“つながれ心！ひろがれ笑顔”をスローガンに、遊びやスポーツ体験を通して子ども達の交流と仲間づくりを図ります。【生涯学習課】

その他の子育て支援予算

○子ども手当 528,024 千円 【福祉課】

3. 福祉の充実

(1) “にこにこの部屋”を開設します。 4,472 千円

夏休み中に引きこもりがちな障害児の居場所づくりとして、“にこにこの部屋”を開設し、地域の活動や社会見学などに参加し、学校とは違う子ども同士のふれあいの場をつくります。【福祉課】

(2) 心身障害者医療費、重度心身障害老人等医療費助成金の所得制限の撤廃

8,400 千円

奈良県が実施している制度では、障害者本人や扶養義務者等の前年の所得が一定金

額を超える場合は医療費助成の対象となりません。宇陀市では、独自の施策としてこの所得制限を撤廃しています。【保険年金課】

- ①心身障害者医療費 5,451 千円（市単独分）
- ②重度心身障害老人等医療費 2,949 千円（市単独分）

(3) “高齢者見守り隊” を創設します。 1,013 千円（新規）

高齢者安心安全ネットワーク推進会議と民間事業者等が連携する高齢者見守り隊を創設し、地域住民が互いに支え合い、高齢者を見守るための新たなしくみをつくります。【長寿介護課】

(4) 児童養護施設支援事業 3,300 千円（新規）

保護者が病気であったり、虐待を加えるなど特別な事情で児童を育てられない場合に入所させて養護し、あわせて退所した者に対する相談や自立のための援助に努めていただいている大和育成園。ここで育つ子ども達のために支援を行います。

【福祉課】

4. 暮らしと健康を守る

(1) 地域公共交通の継続確保

市営有償バス「大宇陀南部線」「榛原大野線」、及び「デマンド型乗合タクシー」の運行継続と路線バス運行補助等により、市民の移動手段を確保します。【企画課】

- ①大宇陀南部線 5,535 千円
- ②榛原大野線 5,172 千円
- ③デマンド型乗合タクシー 9,219 千円
- ④路線バス運行補助金（上内牧系統） 4,000 千円
- ⑤路線バス運行補助金（桜井菟田野線） 419 千円（新規）
- ⑥ほっとバス錦運営協議会補助金 500 千円
- ⑦過疎地有償運送事業補助金（らくらくバス） 1,710 千円

(2) 宇陀市立病院の新築と医療体制の充実

174,390 千円

市民の命と健康を守る宇陀市立病院の新築、医療機器の更新に対し、合併特例債を用いて費用の1/4を出資します。【健康増進課】

(3) がん予防対策の推進

①働く世代の大腸がん検診の創設

3,004 千円（新規）

働き盛りの40歳から60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、大腸がん検診を無料で実施します。

②女性特有のがん検診の推進

4,773 千円

受診率の低い女性特有のがん検診について、子宮頸がん検診（20歳～40歳）、乳がん検診（40歳～60歳）で5歳刻みの方全員に無料で検診を実施しています。

③その他のがん健診の推進

20,907 千円

前年度に続き、胃がん・肺がん・大腸がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん・肝炎ウイルス検診を実施します。【健康増進課】

(4) 各種健康診査の推進

①乳幼児等の健康診査

母子の健康増進及び乳児の健全育成を図るため、妊娠、育児及び乳幼児保健にかかわる保健サービスを提供しています。【健康増進課】

○妊婦一般健康診査受診票の交付

○乳幼児健康診査

○1歳6ヶ月児・3歳児健診

○2歳時歯科健康診査

②特定健康診査等

生活習慣病対策の強化と医療費の適正化を図るため、40歳以上の方を対象に健診受診の勧奨と、受診後の特定保健指導を推進しています。【健康増進課】

(5) スポーツイベントを通じた健康づくり

①みんなの体操会（NHK巡回ラジオ体操）

1,243 千円

NHKラジオの夏期巡回ラジオ体操を招き、ラジオ体操を通じて市民の健康増進、

体力の維持、向上への意欲を高めます。【生涯学習課】

②宇陀シティマラソン（実行委員会補助金）

1,600 千円

“走ろう宇陀！ふれあうところ”をスローガンに、宇陀の豊かな自然の中を走り、市民をはじめとする参加者の健康増進と親睦を図ります。【生涯学習課】

5. 安心、安全のまちづくり

(1) 学校安心安全メール配信事業

523 千円

各学校等（小中学校・保育所・幼稚園）から、不審者情報・学校行事・気象警報時の対応、インフルエンザ等必要な情報を保護者に迅速かつ的確に伝達するため電子メールによる情報配信を行います。【学校教育課】

(2) 宇陀市防災・緊急情報等メール配信事業

391 千円

市民の生命財産を守るため、火災情報や災害予報、防犯情報を配信しています。

「<http://uda.kids110.jp/cel/>」

※ 登録料は無料ですが、登録時やメール受信時に係る通信料は利用者の負担となります。【危機管理課】

(3) 宇陀市全域の防災行政無線のあり方を検討します。 2,000 千円（新規）

旧 4 町村の機器・体制のままの防災行政無線について、26 年頃までに整備することと決められた無線のデジタル化も踏まえ、基本計画を策定します。【危機管理課】

(4) 自主防災組織の設立を促進します。

300 千円

地域の自主的な防災活動促進のため、自主防災組織の結成を推進しています。市内の組織率 32%（世帯数比）の大幅アップをめざし、結成・活動等を支援します。

【危機管理課】

(5) 防犯灯、交通安全施設の整備を進めます。

道路照明、防犯灯の整備更新をすすめ、ガードレールやカーブミラーの設置修繕、センターラインなどの路面標識を点検整備し、安全の向上に努めています。

【総務課・建設課】

- | | |
|-------------------|----------|
| ①防犯灯設置事業補助金 | 476 千円 |
| ②街路灯カーブミラー等支柱修繕事業 | 1,000 千円 |
| ③交通安全施設整備事業 | 6,000 千円 |

(6) DV相談事業の充実 185 千円

配偶者からの暴力などに悩む方々に対する女性専門相談員による相談回数を充実し、年々増加傾向にあるDV被害者の心のケアを図るとともに、関係機関と連携しながら適切な対応に努めます。【人権推進課】

6. 教育の充実

(1) 学校における学習意欲、体力の向上

- | | |
|---------------|--------------|
| ①小中学生基礎学力向上事業 | 1,972 千円（新規） |
|---------------|--------------|

市内小中学生の学力向上のため、学校現場への指導・相談を行える専門的教養と経験を有する人員を宇陀市独自で配置します。【教育総務課】

- | | |
|-------------------|--------------|
| ②小学校外国語活動指導助手設置事業 | 2,065 千円（新規） |
|-------------------|--------------|

新学習指導要領に基づき、小学校5～6年生の外国語活動が今年度から開始されることに伴い、外国語活動をスムーズに導入できる助手を宇陀市独自で設置します。

【教育総務課】

- | | |
|----------------------------|----------|
| ③適応指導教室“はばたき”（教育センター事業）の充実 | 1,077 千円 |
|----------------------------|----------|

不登校児童・生徒の自立を図り、在籍校への復帰を促すとともに、状況に応じた適切な指導や学習の機会を設定し、学習継続への意欲向上を図ります。【学校教育課】

- | | |
|-------------|--------------|
| ④教育相談（心理）事業 | 1,200 千円（新規） |
|-------------|--------------|

臨床心理士による教育相談業務を行います。主として幼児、児童生徒の発達相談に応じ、心理的見地から保護者や教職員にアドバイスをを行い、ニーズに応じて心理検査も行います。【学校教育課】

⑤ほほえみ教室の開設（通級相談教室） 4,423千円（新規）

特別な教育的支援を必要としている児童・生徒と保護者が、専門員の指導相談を受ける教室を市内の代表校に設置します。【学校教育課】

⑥子ども支援活動事業 1,240千円（新規）

学校の教育活動や子ども達の放課後の居場所づくりへの支援を行うため、地域のボランティアやコーディネーターの活動の経費を補助します。【生涯学習課】

⑦“夢の教室”の充実（夢先生事業） 1,203千円

著名スポーツマンを講師に招き、相手を思いやる心やフェアプレー精神を伝えます。また、講師自身の体験談をもとに、子ども達と夢について話し合い、夢を持つことの大切さや目標に向かって努力することの大切さを説き、健全な児童の育成を図ります。【学校教育課】

⑧室生西小学校運動場の芝生化 4,120千円（新規）

低下傾向にあると言われている子ども達の体力の向上をめざすとともに、芝生を活用した多様な地域連携の施策を実施し、緑化による温暖化抑制の一助とします。【学校教育課】

(2) 学校教育の基盤整備等

①大宇陀小学校建設事業の着工 683,516千円

老朽化した大宇陀小学校（校舎・体育館）を新築し、平成25年4月の再編統合に向け、学習環境の整備を行います。（24年度債務負担行為限度額995,730千円）【学校教育課】

②市内小中学校の第2次耐震診断判定業務 31,450千円（新規）

今年度の各校（榛原小・室生西小、大宇陀中・榛原中・室生中）で市内小中学校の耐震診断は完了します。今後はこの結果をもとに耐震化工事に着手していきます。【学校教育課】

③市内小中学校図書室のネットワーク化事業 8,605 千円（新規）

学校間で図書資源を共有するシステムを構築することで、学校図書の有効な利用促進を図り、児童・生徒の読書環境を充実します。【学校教育課】

④市内小中学校、及び幼稚園図書室の図書充実事業 4,600 千円（純増）

学校図書の充実を図ることにより、国語力を形成している様々な力を育み、すべての活動の基盤である「教養・価値観・感性」などを身につけます。【学校教育課】

(3) 生涯学習の基盤整備等

①中央公民館メディア学習機器整備事業 5,800 千円（新規）

公民館事業で実施しているパソコン教室が好評なことから、老朽化した機器を更新し、初心者を中心とした学習機会を提供します。【中央公民館】

②中央公民館学習教材整備事業 736 千円（新規）

平成19年度から開催している夜空の天体観測教室が好評なことから、機器を充実し、市民に天体観測に親しむ機会をより多く提供します。【中央公民館】

③地域の集会所、公民館の整備推進

小附一区集会所の建築	39,000 千円
春日新町集会所の整備	25,000 千円
宇太地区公民館の改修	9,023 千円
大野公民館建築の実施設計委託料	5,000 千円

【総務課・中央公民館・生涯学習課】

④市立図書館の蔵書管理検索システム更新事業 18,000 千円

多様化する利用者のニーズに応えるため、ウェブを介したサービスとセキュリティの向上、地域連携の強化など市立図書館のサービス提供機能の強化を図ります。

【市立図書館】

7. 農林業、産業振興の取組み

(1) 宇陀市産業振興会議

442 千円

宇陀市内における産業の振興を図るための政策提案にかかる調査研究と審議を行うため、平成 22 年秋に創設されています。【まちづくり支援課】

(2) 宇陀市農業支援基金を創設

2,460 千円（新規）

効果的な宇陀市独自の農業支援策を展開するため、市内の農耕用車両から徴収した軽自動車税の全額を基金として、下記の事業に充当することとしました。【農林課】

- | | |
|---------------------------|--------------|
| ①農業用暗渠排水施設設置事業補助金 | 450 千円（新規） |
| ②農業用雨除けハウス新設事業補助金 | 1,500 千円（新規） |
| ③農地・農林業用施設維持管理に伴う重機借上げ補助金 | 510 千円（新規） |

(3) 有害鳥獣対策を強力に推進します

12,261 千円

深刻な状況にある農林業に対する有害鳥獣の被害に対し、効果的な対策を推進していきます。【農林課】

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| ①有害鳥獣駆除集落取組み事業補助金 | 880 千円（新規） |
| ②有害鳥獣捕獲用檻増設 | 1,650 千円（新規） |
| ③有害鳥獣捕獲ライセンス取得補助金 | 660 千円 |
| ④有害鳥獣防除施設設置事業補助金 | 3,000 千円 |
| ⑤鳥獣被害対策実施隊員報酬 | 640 千円 |
| ⑥有害鳥獣捕獲報償金 | 1,559 千円 |
| ⑦県単有害鳥獣防護施設共同設置事業補助金 | 1,782 千円 |
| ⑧猟友会補助金 | 1,090 千円 |
| ⑨有害獣捕獲新型装置導入支援事業 | 1,000 千円（新規） |
| ⑩宇陀名張地域鳥獣害防止広域対策事業（国⇒同協議会直接補助） | |
| ○モンキドッグの育成・獣肉利用の推進ほかソフト事業 | 3,000 千円 |
| ○有害鳥獣防護施設共同設置事業 | 9,000 千円 |

(4) 農地・農林業用施設にかかる国県補助災害復旧事業の受益者分担金を引き下げました。【農林課】

①国県林道災害復旧事業の受益者分担金	20%	⇒	12.25%
②国県農地災害復旧事業の受益者分担金	40%	⇒	25.00%
③国県農業用施設災害復旧事業の受益者分担金	20%	⇒	12.25%

その他の農林業予算	
○中山間地域等農業者直接支払事業	43,505 千円
○農業経営体育成交付金	13,174 千円
○農業戸別所得補償制度事務費	5,406 千円
○米作数量調整円滑化推進事業事務費	1,093 千円
○水と農地活用促進（農業基盤整備）事業	17,550 千円
○農地・水・環境保全地域協議会負担金	4,843 千円
○農山村まるごと体験ウオーク、農産物品評会	444 千円
○森林環境税緊急間伐事業	44,970 千円
○美しい森林づくり基盤整備交付金事業	18,662 千円
○森林整備地域活動支援事業	33,201 千円
○県産材生産促進事業	8,229 千円

8. 歴史・文化的観光資源の整備と活用

(1) 宇陀市の歴史・文化的資源の整備

【文化財保存課】

①天然記念物スズラン群生地保存管理事業	3,307 千円
②宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存事業	26,729 千円
③宇陀松山地区街なみ環境整備事業	21,895 千円
④史跡宇陀松山城跡整備事業	25,195 千円
⑤室生染田天神講連歌堂保存修理事業	3,000 千円（新規）

(2) 観光資源の整備

- ① (仮称) ワールドメイプルパークの整備 60,002 千円

旧宇太小学校を活用し、1,200 種に及ぶカエデを育成展示することによって菟田野地域の観光地づくりや農林業の振興を図り、地域が一体となったまちづくりを推進します。【公園課】

- ② “宇陀市観光サイクリングマップ” を作成します。 200 千円(新規)

【商工観光課】

(3) 文化財ボランティアの人材育成 10 千円

宇陀市を内外に紹介する専門的な知識を有する人材を育成するため、昨年度開講した文化財ボランティア養成講座(2年制)を引き続き開催します。【文化財保存課】

9. 生活基盤の整備、環境に配慮した社会の形成

(1) 効果的な道路整備と修繕の実施

地域が有する道路の課題に対して効果的な拡幅・開設事業を実施するとともに、安全性向上のための舗装修繕を行います。【建設課、都市計画課、農林課】

- ①市道岩室小附本線道路改良事業 102,750 千円
- ②市道平井比布線舗装補修事業 20,750 千円(新規)
- ③市道西峠山辺三線舗装補修事業 25,787 千円
- ④都市計画道路東町西峠線道路新設改良事業 476,000 千円
- ⑤市道小倉室生線舗装補修事業 30,925 千円
- ⑥市道舗装等維持補修事業 50,000 千円
- ⑦県営一般農道大野向淵線整備事業負担金 1,500 千円
- ⑧市道橋梁点検長寿命化計画策定事業 5,000 千円(新規)

(2) 水道給水区域を着実に拡大しています。 245,190 千円

厳しい財政状況のなか、全戸給水をめざして給水区域の拡張事業を実施しています、

整備済み地域での全戸加入にご協力ください。(一般会計から出資又は一部繰出金)

① 簡易水道佐倉地区整備事業	42,500 千円
② 簡易水道田原地区整備事業	35,000 千円
③ 簡易水道大宇陀中央・東部統合整備事業	18,000 千円
④ 簡易水道室生地域県営水道受水施設整備事業	26,500 千円
⑤ 上水道高井配水池系整備事業	79,500 千円
⑥ 上水道雨師・安田・笠間・柳地区整備事業	43,690 千円

(3) 下水道計画認可区域の見直しを実施します。

本管整備済み区域の管路施設の維持補修を優先し、社会経済情勢や市民生活の実情を踏まえ、現行の下水道計画区域の見直しに着手します。(一般会計から一部繰出金)

①菟田野古市場7-135号枝線事業	10,000 千円
②下水道効率的施設計画策定事業	8,000 千円

(4) 新たな地区の地籍調査に着手します。 23,591 千円

市民及び公共の財産を保全するため、地籍の明確化を目的として地籍調査を進めています。23年度は檜牧第1期地区の地籍調査(3.04K㎡:1~4期)に着手します。

【地籍調査課】

(5) 合併処理浄化槽の整備推進

河川の水質汚濁の防止や衛生的な生活環境の促進につとめます。【環境対策課】

①合併処理浄化槽整備事業補助金	15,658 千円
-----------------	-----------

(6) 循環型環境社会の推進 【環境対策課】

①生ゴミ処理機等購入助成事業	800 千円
②集団資源(古紙)回収助成事業	1,944 千円

(7) 地球環境に配慮した公用車の導入 4,866 千円

走行距離が多く、老朽化している公用車(4台)をエコカーに更新することにより、CO₂排出量及び燃料消費量の削減を図ります。【管財課】

10. 行政運営の効率化と財政の健全化

(1) 効率的な組織づくり・職員の能力の向上

【人事課】

①市職員の定員削減 一般会計所属職員 478人 (H22当初:504人)

平成22年度限りの措置として市職員の早期勧奨退職制度(医療職を除く)を実施し、30名の応募者がありました。その他の退職者も含め41名の退職が見込まれており、平成22年10月に移籍してきた保養センター美榛苑職員15名を含めて、一般会計職員は▲26名の減員となっています。

②政策対応能力を向上させるため、職員の人事考課制度を導入します。 600千円

(2) 宇陀市ホームページのリニューアル

14,727千円

市民の皆さんとの情報共有化を推進するため、市役所各部署が常に住民の視点に立ち、リアルタイムに情報発信できるホームページ作成環境を構築し、市民の皆さんがアクセスしやすいウェブサイトのリニューアルします。【秘書広報情報課】

(3) 歳入面からの取組みの推進

①市税等の徴収率の向上

奈良県から派遣される(23年度のみ)専従チームと協働し、市県民税を中心とした滞納対策事業を実施し、差し押さえ等の滞納処分をより一層強化しながら徴収率の向上と公平性の確保に努めます。【徴収対策課】

②コンビニエンスストア納付システム導入費

1,170千円

納税者の利便性を高めるため、休日・夜間等にも利用できるコンビニエンスストアでの納付システムを24年度からの実施をめざして準備を進めます。【税務課】

③低利用、未利用状況の市有資産の売却 【管財課】

○土地売払い収入予算額 82,095千円

○廃車公用車の売払い収入予算額 100千円

※18～22年度末(見込み)までの土地売却総額 173,000千円

※18～22年度末(見込み)までの廃車公用車の売却総額 7,400千円

(4) 歳出面からの取組みの推進

①職員人件費の削減

第2次宇陀市行政改革大綱実施計画等に基づき、人件費の削減を継続します。

- 市長、副市長、教育長の給料カット（▲20～30%） ▲5,952 千円
- 一般職員の給料カット（▲2.5%） ▲50,400 千円
- 一般職員の管理職手当のカット（▲30%） ▲15,000 千円

②経常的経費の削減

当初予算編成方針に基づき、経常的経費を▲2.8%としました。

- H23年度予算経常的経費 14,417 百万円（H22年度 14,831 百万円）

③市補助金の適正化の推進

▲16,727 千円

平成22年10月に策定された「宇陀市の補助金の適正化に関する方針」に基づき、団体運営費補助金から事業費補助金への転換や、団体等の自主財源確立を促進しました。

④市加入の協議会などの見直し

▲719 千円

市が参画する各種協会、協議会等に対する意義、効果などを検証し、宇陀市の負担金の引下げ、退会などの見直しを行ないました。次年度以降も継続します。